

News Release

平成 27 年 9 月 28 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

「広島県における訪日外国人観光客の動向について」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、このたび、「広島県における訪日外国人観光客の動向について」を発行しました。

近年、訪日外国人観光客数は増加しており、広島県においても2つの世界遺産「原爆ドーム」「厳島神社」を有していることから、訪日外国人観光客数は全国と同様に増加傾向にあります。

平成26年の訪日外国人観光客数（1,341万人）のうちアジアからの観光客数が約8割、欧米諸国（注）からの観光客数は2割弱であるのに対し、広島県においては、平成26年の訪日外国人観光客数（104万人）のうち欧米諸国からの観光客数が約6割、アジアからの観光客数が約3割と、全国の割合と逆転しています。当レポートでは、この特徴を踏まえ、アジアのみならず欧米諸国を含めた訪日観光客動向について分析し、インバウンド観光産業の重要性について整理しました。

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート(中国)」(<http://www.dbj.jp/investigate/area/chugoku/index.html>) に掲載していますのでご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による問題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来をともに実現していきます～」に基づき、今後とも地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

（注）欧米諸国には北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアを含む。

【お問い合わせ先】

中国支店 企画課 電話番号 082-247-4970